

令和6年度  
災害対応特殊消防ポンプ自動車（CD-1型）  
仕様書

雲南消防本部

## 目 次

第 1	総 則		
1	目的	.....	1
2	準用	.....	1
3	仕様の確認	.....	1
4	仕様の変更	.....	1
5	提出書類及び検査	.....	2
6	製作上の注意	.....	4
7	規格及び表示	.....	4
8	保証期間	.....	4
9	登録手続等	.....	4
10	安全操作技能講習	.....	5
11	無償点検整備	.....	5
12	購入台数	.....	5
13	納入期限	.....	5
14	納入場所	.....	5
第 2	仕 様		
1	仕様の読み替え	.....	5
2	シャーシ仕様	.....	5
3	キャビン艤装	.....	7
4	車体艤装	.....	9
5	資機材収納	.....	12
6	電装関係	.....	14
7	消防専用電話装置及び AVM 車載端末装置	.....	16
8	塗装及び文字記入	.....	16
9	別表	.....	18

## 第1 総則

### 1 目的

この仕様書は、雲南消防本部（以下「発注者」という。）が、令和6年度に発注する災害対応特殊消防ポンプ自動車CD-1型（以下「車両」という。）1台のシャーシ、取付品、積載品、附属品及び本体艤装に関する仕様について、必要な事項を定めるものである。

### 2 準用

- (1) 完成車両は、本仕様書によるほか日本消防検定協会が定める消防車両の安全基準を満たし道路運送車両法（昭和26年法律第185号）、道路運送車両の保安基準（昭和26年運輸省令第67号）、動力消防ポンプの技術上の規格を定める省令（昭和61年自治省令第24号）の規定に適合し、緊急自動車としての承認が得られるものであること。  
また、積載品及び附属品にあっても、国、消防庁で定める技術上の基準に適合したものであること。
- (2) 車体は、災害時における諸活動が迅速に行え、堅ろう且つ十分な強度、安全性、耐久性に優れた構造で、車体にはできる限り軽量及び防錆に優れた材料を使用すること。
- (3) 車両及び装備品は、緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成18年4月1日消防第49号）で定める車両の基準に適合する艤装及び資機材を装備すること。
- (4) 製造工場については、品質管理システム（ISO認証取得）を構築していること。
- (5) 本仕様書に記載されていない事項で、機能、工作上必要とするものは、事前に発注者に連絡、確認し施工するものとする。
- (6) 受注者は、設計、製作、材料、部品等に関し、特許その他権利上の事項に十分注意し、支障が生じた場合は、受注者においてその責任を負うこと。
- (7) 本案件は落札業者決定後、仮契約を締結し、雲南広域連合議会において可決の旨の議決があったときに、何ら手続きをすることなく本契約に移行する。但し、否決の議決があったときは仮契約を解除するものとする。

### 3 仕様の確認

受注者は、契約にあたりこの仕様書を十分熟知のうえ、契約するものとし、契約後における一切の疑義は全て発注者の解釈に従うものとする。なお、仕様内容に疑義が生じた場合は、速やかに発注者と協議を行い、質疑応答事項は本仕様書の追補とするものとする。

### 4 仕様の変更

受注者は、仕様の目的が十分達成されるよう製作し、技術上の変更を要する場合又は艤装上疑義が生じた場合には、発注者と協議のうえ、承認を得ることとし、その内容について双方とも全て文書で確認・処理し、誤りのないよう万全を期すこと。

なお、これらに伴う費用負担が生じた場合は、受注者側において負担すること。

## 5 提出書類及び検査

(1) 受注者は、製作に先立ち、次に掲げるものを発注者に提出し、承認を受けた後製作すること。なお、提出についてはA4版ファイルに製本して1部、電子媒体で1部提出すること。

ア 着手届

イ 製作工程表

ウ 製作承認図 一式

- (ア) 艀装外観5面図（前後左右及び上部）
- (イ) 車体骨組図
- (ウ) 艀装、装備品取付図
- (エ) 動力伝達装置関係図
- (オ) ポンプ架装図
- (カ) 各種配管、配線及び計器系統図
- (キ) 車両重量計算書（総重量及び前後輪軸への分配荷重）
- (ク) 無線用配管及び配線図
- (ケ) キャビン内艀装図
- (コ) 主要材料表
- (カ) その他必要な図面

エ 諸元明細書

- (ア) シャーシ諸元明細書
- (イ) 艀装諸元明細書（ポンプ、取付品、附属品のメーカー及び型式）
- (ウ) 契約明細書

オ その他発注者が指定するもの

(2) 受注者は、納入に際し、次に掲げるものを提出すること。なお、提出についてはA4版ファイルに製本して1部、電子媒体で1部提出すること。

外国製品の取扱説明書等については、全て日本語に翻訳すること。

ア 完成届

イ 審査書

- (ア) 改造自動車審査申請書（関係書類の写し）

※中国運輸局島根運輸支局に申請する際に1部、完成時に2部提出すること。

- (イ) 車両重量計算書（艀装重量、車両重量、車両総重量の前後輪軸への分配荷重）
- (ウ) 最大安定傾斜角度計算書

ウ ポンプ性能試験成績表

エ 動力消防ポンプの技術上の規格及び消防車両の安全基準規格適合証（写し）

- オ 消防ポンプ自動車受託試験適合証（写し）
- カ 車両取扱説明書・整備説明書等（エンジン、シャーシ、ポンプ等）
- キ 各種装備品、取付品、附属品の取扱説明書（日本語版）
- ク 車両及び各装備品のトラブル時に対する連絡先（住所、事業所、電話番号）
- ケ 車両諸元表
- コ 車両及び積載関係資機材の証明書、保証書（各メーカーの公表した保証期間を明記）
- サ 完成図面
- シ 工程写真（カラー、デジタルカメラ可）
  - (ア) 製作中の各工程
  - (イ) 完成写真

※各工程が判明できるよう順序よく説明を付して提出すること
- ス 契約金額明細書
- セ 緊急自動車登録書類
- ソ その他整備等の参考書及び発注者が指定するもの

### (3) 検査

#### ア 中間検査

艤装工程中、随時適当と思われる時期（車体塗装前）に、発注者が行う検査を受けること。なお、中間検査における指摘部分及び未施工部分は早期に改修等を行い、その経過を発注者に報告すること。

#### イ 完成検査

完成車の納入時に本仕様全般にわたって、発注者が行う完成検査を受けなければならない。完成検査は、発注者の指定する場所において実施すること。

なお、完成検査の結果において、指摘事項等があった場合でも補修及び調整等が行えるよう、納入期限までの日数に余裕をもたせた時期に完成検査を実施すること。

#### ウ 検査日の調整

各検査とも、実施予定日を事前に協議し、発注者の承諾を得た後、決定した実施日のおおむね 30 日前までに、検査日時、場所等を記載した書類で検査依頼をすること。

#### エ 検査に必要な測定機器等は、受注者が準備すること。

#### オ 受注者は、検査の方法について異議を申し立てることはできない。

カ 発注者が行う検査において、不適合と認められた事項については指定する日までに受注者は無償で修正、調整及び取替え等必要な対応を実施しなければならない。また、検査中の故障及び破損等の修理は全て受注者の負担とする。

キ その他検査が必要と思われる場合は、協議のうえ検査を実施すること。

## 6 製作上の注意

消防車両として次の条件を満たし、最適な構造及び性能を十分に有するものであること。

- (1) 車両全般にわたり防錆性に優れ、積雪及び寒冷に十分対応できるものとし、堅ろう且つ耐久性に優れた構造であること。また、長期の使用に十分耐え得るもので、維持管理が経済的に行え、車両底部及び下廻り部品は防錆塗装処理（ジーバード塗装）及び電子防錆システムを施すこと。カチオン塗装仕上げ、ステンレス仕上げ及びFRP等を有効に活用し、防水措置及び防錆措置を十分に行い、特に下廻りの部材の材質を吟味し、継ぎ目及びネジは全てコーキングを施すなど、艤装部分が錆びることのないように措置を講じること。
- (2) 清掃、点検、調整及び修理が容易に行える構造とすること。また、吸水口、中継口及び放水口コックの周囲は、ポンプ室内が見える構造（開放式）とすること。
- (3) 使用取扱上の安全性、操作性を十分に考慮したものであること。
- (4) 全体的に重量軽減を図り、前後左右の荷重バランスを十分に考慮すること。また、発注者が提示する旧車両等からの積替え資機材等に関して、車両積載重量を考慮し、発注者と十分に協議すること。
- (5) 水洗い整備ができるとともに、残水等の生じない構造とすること。  
また、フェンダー等で器具接触等により塗装剥離のおそれのある部分には、適切な保護対策を講じること。

## 7 規格及び表示

### (1) 規格

車両に使用する材料及び部品は、特に指定するものを除き、JIS（産業標準化法（昭和24年法律第185号）第20条第1項の日本産業規格をいう。）G3101（一般構造用圧延鋼材）又はこれと同等以上の強度及び耐久性を有する新規製品を使用すること。

ただし、ネジ類については、ISOネジ又はこれに準じたものを使用すること。

### (2) 表示

ア 車両に使用する絵表示以外の表示は、日本語又は英語で表示すること。

イ 車両に使用する単位等の表示は、全てSI単位で表示すること。

## 8 保証期間

納入車両の保証期間は、納入日から起算して1年間とし、その他の特殊装置及び装備品については、各メーカーの公表した期間とすること。

ただし、保証期間経過後であっても、設計施工及び使用部材等に起因する不具合が生じた場合は、受注者の負担で納入時の状態に修復すること。

## 9 登録手続等

- (1) 受注者は、車両が完成したときには、運輸支局の行う新規登録検査に合格させるものとし、その手続の一切を代行すること。

(2) 緊急自動車届出確認証を含む新規登録に関する登録手続き及び回送等に要する諸経費の負担は、受注者の責任によるものとする。ただし、新規登録料、自動車重量税、自動車損害賠償責任保険料及びリサイクル料金は、発注者が負担するので、受注者が立替払いをして、納車後当該車両代金とは別に発注者に請求すること。

(3) 希望ナンバーを取得すること。(詳細は、別途協議)

#### 10 安全操作技能講習

受注者は、車両納入後の適当な時期に、使用者に対して操作技能講習及び点検整備講習を実施すること。(別途協議)

#### 11 無償点検整備

受注者は、納車後2回の車両法定点検は契約金額に含めるものとし、12カ月の車両法定点検でエンジンオイル及びオイルエレメントを無償で交換すること。

#### 12 購入台数

1台

#### 13 納入期限

令和8年3月27日(金)まで

#### 14 納入場所

島根県雲南市木次町里方1100番地6

雲南消防本部

### 第2 仕様

#### 1 仕様の読み替え

本車両の取付品及び取付装置並びに装備・附属品の仕様については、別表に記載するものとし、車両及び別表記載の取付品等の仕様については、同等品以上に変更することができる。

ただし、同等品以上に読み替える場合、応札前に仕様を確認できる資料を添付して質問すること。

#### 2 シャーシ仕様

(1) シャーシの諸元及び性能は、最新型の消防専用シャーシとすること。

(2) 車体構造は、本仕様書によりメーカー標準シャーシ(CD-1型低床)をポンプ車専用の改造及び艤装を施すもので、その構造は、振動及び衝撃等に十分耐えうるものであり、あらゆる走行条件に対して安全、かつ、安定性を保持するものであること。

(3) 車体形状は、キャブオーバー型ダブルシートとし、乗車定員は5名とする。

(4) エンジン

ア 種類	ディーゼルエンジン
イ 総排気量	4,000cc以上
ウ 最高出力	110kW(150Ps)以上

(5)	駆動方式	4輪駆動
(6)	変速装置	マニュアルトランスミッション
(7)	オルタネータ	24V-80A以上
(8)	バッテリー	12V-100AH以上×2個
(9)	最大積載量	極力軽減化を図ること
(10)	車両寸法	
	ア 全高	3,000mm以下
	イ 全長	6,000mm以下
	ウ 全幅	2,000mm以下
(11)	燃料タンク容量	60リットル以上
		給油口は、可能な限り低い位置に設け、容易に給油できる構造とすること。
(12)	ブレーキ	ABS装置・坂道発進補助装置付
(13)	ステアリング	パワーステアリング
(14)	ヘッドライト	メーカー純正品
(15)	フォグランプ	メーカー純正品
(16)	キャブチルト	電動油圧式(非常用手動装置付)
(17)	オイルパンヒーター	キャビン内でON、OFF切り替えスイッチ
(18)	バッテリー管理装置	オイルパンヒーターと電源共用(10mコード付)
(19)	キャビン昇降用ステップ	ステップ式
(20)	その他の装備等	
	ア ラジアルタイヤ	アルミホイール付(スペアタイヤ含む) 1式
	イ スタッドレスタイヤ	アルミホイール付 1式
	ウ 計器類	エンジン回転計・油温計・エンジンアワーメーター・電圧計
	エ 音声合成アラーム	バック・右左折(ON、OFFスイッチ付)
	オ 路肩灯	LED灯 スモール連動
	カ 車幅灯(プロテクター付)	車体後部側面 スモール連動
	キ ステップ照射ライト	LED灯
	ク サイドミラー	車両純正品
	ケ 補助バックミラー	助手席用
	コ 泥除ゴム	1式(全輪) ハクエイ工業ミズキール
	サ エアコン	1式
	シ サンバイザー	1式
	ス サイドバイザー	全ドア取付・ステンレス製



セ	フロアマット	1式 (防水)
ソ	ナンバーフレーム	ステンレス製・前後取付
タ	牽引フック	フロント、リア
チ	フロントメッキグリル	メッキグリル
ツ	車載用工具	1式 (ジャッキ含む)
テ	停止表示器材	1式
ト	GPS ナビゲーション (AM・FM ラジオ付き)	1式 スマートフォン (android/iPhone) 内のナビゲーション等が映写できる構造のもの
ナ	ドライブレコーダー	1式
ニ	後方監視システム	1式 (車両後方の情報表示液晶モニター、後方確認カメラ含む)
ヌ	ETC	1式
ネ	その他シャーシメーカーが提供する標準附属品	1式
ノ	寒冷地仕様	エアドライヤーヒーター付 バッテリー100AH以上 電子防錆システム シャッター式構造 車体下部防錆塗装処理

### 3 キャビン艙装

#### (1) キャビン外部

ア キャビン屋根脇に標識灯 (取付け位置は、別途協議) 及びLED赤色警光灯 (50Wスピーカー、サイレン含む) を取付けること。

イ ステンレス製旗立てパイプを取付けること。(取付け位置は、別途協議)

ウ 助手席から左後方を確認できる補助バックミラーを取付けること。

エ フロントパネル中央付近に、直径150mmの消防章を取付け、シャーシメーカー固有のマークは取外すこと。

オ バッテリーは、キャビン下部に設け、レール引出式テーブルに積載すること。また、レール引出式テーブルは、容易に引き出すことができ、かつ、確実にロックできる構造とすること。

カ 後部座席乗降用ステップは、消防用長靴での乗降を考慮し、十分な幅・奥行きを備えるものとし、靴が当たる部分をアルミ製しま鋼板等で保護したうえで、滑り止めの措置 (セーフティウォーク等取付) を講ずること。

また、ステップ箇所を照射するLED照明を取付け、ドア開放に連動して点灯すること。

キ キャビン左右センターピラー及び後部ピラーに乗降用のステンレス製手摺りを設ける

こと。(ステンレス製乗降用アシストグリップ)

ク フロントガラス上部にステンレス製手摺りを設けること。また、フロントバンパー上部にステップを設けること。ステップは、消防用長靴での乗降を考慮し、十分な幅・奥行きを備えるものとし、靴が当たる部分をアルミ製しま鋼板等で保護するなどの措置を講じること。

ケ 車両全般にわたり、美観が損なわれるおそれがある箇所は、メッキ塗装を施すこと。

## (2) キャビン内部

ア 後部座席の室内は、隊員が防火衣・空気呼吸器等の装着が容易にできるスペースを可能な限り確保すること。

イ キャビン内天井部には、断熱材及び内張りを施し、電装品及び各配線の点検が容易に行える構造であること。

ウ キャビンのバックパネルは張り出し構造とし、座席の背もたれ後部に空気呼吸器取付け装置を3基取付け、面体吊り下げフックを3箇所取付けること。また、後部座席の座面下に収納に便利なボックスを最大限に設けること。(詳細は、別途協議)

エ 助手席及び後部座席の着席時の床面高は、シャーシ標準の高さと同じにすること。

オ 全座席に防汚シートカバーを取付けること。(詳細は、別途協議)

カ 運転席にハンドレスフレキシブルマイクを設置すること。ON・OFF スイッチは機関員が操作しやすい位置に設けること。(詳細は、別途協議)

キ バッテリーから車両本体への電源供給を遮断するバッテリーメインスイッチを、運転席から操作しやすい位置に設けること。

ク イグニッションキーのACCに連動した、艀装関係への電源供給を行う艀装メインスイッチを設けること。

また、前方にはAVM車載端末装置取付架台を設け、AVM車載端末装置をGPSナビゲーションシステムなど前面パネルの操作及び視認障害にならないように配慮し移設すること。(詳細は、別途協議)

ケ 前席中央部にセンターコンソールボックスを設置すること。

コ バックアイカメラと連動する室内ミラー型のカラーモニターを設置すること。

サ 消防専用無線装置(以下「無線装置」という。）・電子サイレン等の電装品をフロント上部(オーバーヘッドコンソール)で集中管理できる構造とすること。警告音声装置内蔵の電子サイレンアンプ、広報用マイクの艀装に関する各スイッチ類(表示灯付)を取付けること。各機器等の配置については、確実かつ容易に操作できるよう配慮し、銘板を取付けること。

シ フロント上部は、次に掲げる機器等を可能な限り集中管理するものとし、機器のすべてが埋め込み収納され、露出した配線がないように配慮すること。

ス 各機器等の配置については、確実かつ容易に操作できるよう配慮して、銘板を取付けること。また、10連スイッチ配置内容等については、確実かつ容易に操作できるよう配慮し、銘板を取付けること。（詳細は、別途協議）

No.	品 名	No.	品 名
1	シャッター開閉確認ランプ	6	梯子昇降装置収納確認ランプ
2	10連スイッチボックス	7	路肩灯スイッチ（スモール連動）
3	電子サイレンアンプ	8	LED作業灯スイッチ
4	モーターサイレンスイッチ	9	ポンプ部計器灯
5	無線装置用スピーカー切り替えスイッチ	10	オイルパンヒータ ON・OFF スwitch

セ キャビン内中央に手摺りパイプを設け、手摺り前方の中央に、地図収納箱を取付けること。（サイズは、ゼンリン地図が収納できること）

ソ キャビン内天井部に埋込式LED照明灯を設け、スイッチはON・OFF・ドア連動の切替え式とすること。なお、天井部に設けるLED照明については、運転に支障のないように対策を講じること。

タ 助手席の上部に、スイッチ付フレキシブル型ライト（LED・固定金具付）を設けること。

チ キャビン内天井部の障害にならない位置に、携帯用拡声器の取付用ブラケットを1箇所設けること。

ツ キャビン後部座席上部に音量調節付無線装置用の室内スピーカーを左右に取付けること。

テ 車両バッテリーを常時充電状態に保つためのバッテリー管理装置をキャビン内の適切な位置に取付けること。

ト メインスイッチ及びPTOスイッチは、運転席から操作しやすい位置とし、夜間でも位置が確認できるように蛍光板（耐久性のあるもの）等を貼付すること。

ナ 艀装の配線はできる限り露出させず被覆を行い、外部に貫通する部分は防水防錆処理を施すこと。また、艀装電装品ヒューズボックスを点検しやすい位置に設け、各ヒューズに配線名称及び容量を明記すること。

ニ 広報用マイクを後部座席に増設すること。（音声合成付きマイク）

#### 4 車体艀装

##### (1) 車体の概要

ア 車両は、ポンプ装置、照明装置等を装備し、車体は手動式シャッター型（バーシャッター、鍵付、アルミ仕上げ）で、内部に消火活動用資機材を収納する構造とすること。

イ 資機材収納部は、資機材を同一用途にまとめて収納しつつ、積載量を確保する展開式収

納装置等を活用し、適切なステップ配置、滑り止め、重量物を下部に積載するなど、隊員の安全に配慮しつつ、確実・迅速な消防活動が行える構造とすること。

ウ 車体の重要点検箇所及び主要部分の点検整備に関して、工具類を使用するためのスペースを確保するとともに、必要に応じて点検口及び点検扉を設けること。

エ 車体デッキ部は、アルミ製しま鋼板とすること。なお、デッキ部は水が溜まらない構造とすること。

## (2) ポンプ装置

### ア ポンプ

(ア) 高圧2段バランスタービンポンプ、またはインデューサー付高圧1段ポリユート式ポンプとすること。

(イ) ポンプ性能は、A-2級以上であること。

(ロ) ポンプは、シャーシエンジンのフルパワーPTO（パワーテイクオフ）により駆動され、PTOの操作は運転席に設けられたスイッチにより行う構造とすること。

(ハ) ポンプ回転軸部のポンプ材質は、車両全体の軽量化を考慮し、アルミ製、または青銅鋳物製とすること。ただし、砂利等の混入にも対応できるよう強度、耐腐食性も考慮すること。

### イ 真空ポンプ

(ア) 真空ポンプは、1回転あたり排気量1,500 cc以上の無給油式真空ポンプ（五翼偏心ロータリーポンプ又はピストンポンプ）を、整備性を考慮して1基使用し、揚水時間の短縮を図ることができるものとする。また、動力伝達については、Vベルト又は歯付ベルトによりスムーズな伝達が行えること。なお、非常用の別系統スイッチを設けること。

(イ) 真空ポンプ内のローターを含むケーシングの材質は、軽量化及び耐腐食性を図るためアルミ製とすること。また、ベーンは、高強度かつ耐久性を有した材質とすること。

(ロ) 真空ポンプとの間に逆止弁を設置し、気密を保持できるようにすること。なお、ポンプと真空ポンプの間に水遮断器（止水弁）を設け、真空ポンプ内に水を混入させず、オイル交換、不凍液注入及び洗浄操作が必要ない構造とし、残水による冬季凍結や微細な異物の混入の恐れが少ないものとする。

(ハ) 真空性能については、吸管外端閉塞にて30秒以内に大気圧の84%以上となること。

(ニ) 真空ポンプは、非常時に手動操作で揚水できる構造とすること。

### ウ ポンプ計器

(ア) 車体の両側面に、ポンプ圧力計及びポンプ連成計（アナログ表示式で、メーターパネルは黒色系、メモリ等がはっきりと表示しているもの。）を各1個取り付けすること。

- (f) 車体の両側面に、流量計（デジタル表示式）を各1個取り付けすること。
- (g) 車体の両側面に、積算流量計（デジタル表示式）を各1個取り付けすること。
- (I) 各計器には、それぞれ内部照明（LED）があること。

#### エ ポンプ操作盤

- (ア) 動作中の吸水口及び放水口が確認できるモニター盤を設けること。
- (イ) 落水時警告ランプ及び警告音（解除スイッチ付）で知らせるようにすること。
- (ウ) 揚水時間の超過、冷却水の通水等の各状態が確認できること。
- (I) 自動揚水装置を設けること。
- (d) 操作盤で必要な予備のヒューズを、左右の操作盤付近に設けること。

#### オ 吸水口

- (ア) 吸水口は、呼称75mmボールコック（ストレーナー付）を車体の左右両側に各1個設けること。
- (イ) 吸管巻取装置及び左右の吸水口にそれぞれエゼクター装置を設け、連続吸水が可能な構造とすること。その他の形式とする場合は発注者と協議すること。
- (ウ) 車体内部に吸管巻取装置（手動式）を設け、エキスパン金具付軽量ソフト吸管（呼称75mm×長さ10m）を常時接続する構造とすること。また、先端には媒介金具を取り付け、ワンタッチ式ストカゴを取り付けられる状態とすること。なお、吸管を引き出す際、ボディと緩衝しないような措置を講じること。
- (I) 車体の左側に呼称75mmエルボ自在継手を介してエキスパン金具付軽量ソフト吸管（呼称75mm×長さ10m）を常時接続すること。その他の形式とする場合は発注者と協議すること。

#### カ 中継口

中継口は、呼称65mmボールコック（ストレーナー付）を車体の左右両側に各1個設け、中継口金具（呼称65mmネジメス×呼称65mm差込メス）を取付けること。

#### キ 放水口

呼称65mmボールコックを車体の左右両側に各2個設け、前側左右各1個については、マルチコネクター放口金具（呼称65mmネジメス×呼称65・50mm差込オス）、後側左右各1個については、マルチコネクタースィーベル吐水口媒介（呼称65mmネジメス×呼称65・50mm差込オス）を取付けること。

#### (3) 不凍液注入装置

各ボールコック等の凍結防止のため、不凍液注入装置を設けること。

不凍液用タンクは、液量が確認しやすい構造とし、液の補充やメンテナンスが容易に行える位置に取付けること。

#### (4) 排水装置

- ア ポンプ装置、通水部、その他構造上必要な箇所にドレン配管を設け、確実な排水処理ができること。
- イ 排出弁は、特記されたものを除きコック式とし、吸水系と吐水系に色分けし左右ステップ付近に取付けること。
- ウ 各ドレンはコック式とし、左右前方ボックス内又はポンプ操作装置の下部ボックス内に取付けること。
- エ ポンプドレンは電動式とし、非常用の手動バルブも備えること。
- オ 排水装置は、走行に支障が出ないよう最低地上高の確保に努めること。

#### (5) 冷却水装置

冷却水を有効に活用するため、放水中にポンプで加圧された水によりP T Oギアケース及びサブラジエーターを強制的に冷却する装置を備えるとともに、配管の構造を操作性、メンテナンス性に優れたものとする。また、予備回路を設け、主及び予備にそれぞれグラスボール付ストレーナーを備えること。

### 5 資機材収納

#### (1) 資機材収納部

ア 資機材収納部は、デッドスペースを限りなく少なくし、展開式パンチングメタル、展開式ラック、引き出し式を基本とし、その他は棚を設けて収納するなど、積載品に応じて取り出しやすい構造とすること。また、資機材の固定は、固定装置又はマジックベルト等を使用し、ワンタッチで確実に脱着できる構造とすること。（詳細は、別途協議）

なお、棚部分は、可能な限り自在に棚位置を変更できる上下可変方式とすること。

イ 車体の左右前後両側下部は、下蝶番式2重扉装置とし、扉内部はアルミ製しま鋼板を張り、ステップとして使用できる構造（チェーンレスステップ方式）で、可能な限り収納スペースを設け、資機材等の積み降ろし作業が容易に行えるものであること。ステップ部には、滑り止めの措置（セーフティウォーク等貼付）を講じること。

また、上部から収納スペース内へ水の浸入を防ぐため、防水パッキン、水抜き穴等の必要な防水措置を講じること。

なお、内部の収納装置の構造により、車体下部までシャッターにする場合は、資機材等の積み降ろし作業が容易に行えるようステップとして使用できる機能を設けること。

ウ 左右両側後輪部の側板は、欠け部分がほとんどない展開式ステップとして使用できる構造（チェーンレスステップ方式）とし、資機材等の積み降ろし作業が容易に行えるものであること。ステップ部には、滑り止めの措置（セーフティウォーク等貼付）を講じること。

エ 車体の左右前後両側下部の扉及び左右両側後輪部の側板は、展開時の安全を確保するため、片側3つのステップがフルフラットになるよう努めること。

また、各扉の上方角（前後）にLED点滅灯を設置し展開時に点滅する構造とすること。

オ 車体の左右前後両側下部の扉及び左右両側後輪部の側板は、展開した時には、緩やかに展開でき、また、閉鎖はストッパー金具付きで閉まった状態を保持できる構造とし、いずれにしても省力、緩やかに開閉できること。

カ 車体上部は、アルミ製しま鋼板張りとし、各資機材を積載するための十分な強度を有し、可能な限りフラットに仕上げること。

また、資機材収納部を最大限確保するため、車体上部に取手付き脱着式大型アルミボックスを取付けること。（サイズ及び個数は別途協議）

キ 車体上部の左右前後に手摺を取付けること。（詳細は別途協議）

ク 車体上部左側に梯子手動昇降装置（後部昇降型シーソータイプ）を取付け、アルミ製2連梯子、とび口2本を積載すること。また、梯子昇降装置の収納確認がキャビン内で行えること。

ケ 左右車体前側（キャビン側）及び車体後面に、車体上部乗降用のステンレス製ステップ及び梯子を設けること。また、梯子横桟には滑り止め措置（セーフティウォーク等貼付）を施すこと。

コ 運転席側に近い位置に、車輪止めを固定する装置を取付け、そこにゴム製車輪止め2個を積載すること。また、固定装置は、走行中に車輪止めが落下せず、かつ容易に取り出せる構造で、車輪止めの固定はベルトを用いず脱落しない構造とすること。

サ シャッター内の資機材収納部に、別表の資機材（旧車両積替え品含む）を積載すること。積載箇所にはクッションゴムや樹脂製スノコ等を敷き資機材保護にも努めること。（収納レイアウト及び積載方法については、別途協議）

シ リアのオーバーハングは、ホイールベースの2/3以下、地上高400mm以上とし、地面との接触を避けるために、後端を斜めに切り上げる形状とすること。

## (2) 可搬消防ポンプ積載部

ア 可搬消防ポンプ積載装置は、車体の右側に設け、引出台座、積載台及び固定装置等から構成されるもので、発注者が指定する可搬消防ポンプが積載できる構造であること。

イ 引出台座は、可搬消防ポンプを搬送しやすい位置まで引き出せ、引き出した箇所での積載台に同ポンプの加重を載せても耐えうる構造とすること。また、車両の走行振動や緊急停止等の衝撃にも耐えうるものであること。

ウ 積載台は、引出台座の上部に設置し、可搬消防ポンプを確実に固定でき、重量に耐えられる強固な構造であること。

エ 固定装置は、引出台座の固定装置及び可搬消防ポンプの固定装置の2種類とし、引出時及び収納時に自動的に固定する機構とすること。

オ シャッター内に収納した状態で可搬消防ポンプの充電ができる構造とすること。

カ 可搬消防ポンプ用吸管は、後部ボックスに引出装置を設け、収納できる構造とすること。

## 6 電装関係

### (1) 配線処理等

ア 電気配線及び無線装置関係の配線は、強固に取付けるとともに貫通部は防水処置を施し、配線は隠ぺい配線とし、電装品及び各配線の取付箇所が容易に点検でき、資機材の出し入れに支障とならない構造とすること。また、車体下部の配線は極力避け、無線装置の雑音防止に必要な措置を講じること。

イ 各装置のヒューズは、コンソールボックス付近の点検容易な位置に設け、各電装品のヒューズごとに名称、アンペアを記入すること。

ウ 配線及びコネクタ等は、防水、防錆性能を有するものを使用し、コネクタ等に雨水等が直接かからない措置を講じること。

### (2) 電子サイレンアンプ

キャビン内に、電子サイレンアンプ（50W DC24V 消防署仕様・標準搭載メッセージ5ch）を取付けること。

また、同装置の警光灯スイッチに、LED赤色警光灯・LED補助赤色点滅灯、各種LED赤色点滅灯を連動させること。

### (3) 赤色警光灯・作業灯

ア キャビンの屋根前部にLED赤色警光灯（50Wスピーカー、サイレン含む）を取付けること。

イ キャビンの前面に、LED赤色点滅灯2個を取付けること。

ウ 車体左右の側板上部に、LED赤色点滅灯各3個及びLED作業灯各2個を取付けること。また、作業灯のスイッチをキャビン内及び左右両側にそれぞれ操作しやすい位置に取付けること。

エ 車体後面上部に、LED赤色点滅灯2個（専用プロテクター取付）及びLED作業灯1個を取付けること。また、作業灯のスイッチは、キャビン内及び車体後面（プロテクター取付）の操作しやすい位置に取付けること。

### (4) 標識灯

標識灯はLEDとし、スモールに連動させること。

### (5) 照明灯

車体前部のスペースに、照明灯（保護枠付の手動式伸縮ポール付投光器）を左右各1基取付けること。また、地上から操作しやすい位置で、それぞれ防水処置を施したスイッチを設けること。

### (6) 車体の照明灯

#### ア 計器類

夜間のポンプ操作時において、計器の指針及び作動確認ができる十分な照度を持ったLED



LED照明灯を、ポンプ操作装置付近の適切な位置に設けること。また、スイッチはセンターコンソール付近の操作しやすい位置に取付けること。

イ 資機材収納部

夜間の消防活動に配慮し、シャッターレール付近及び収納ボックス等内部に効率的に照射することができるLED照明灯を設けること。当該照明灯は、シャッターの開閉に連動して点灯すること。

ウ エンジン・ポンプ室

エンジン・ポンプ室の点検を実施するために、十分な照度を持った照明灯を適切な位置に設けること。

(7) 音声合成アラーム

後退時及び右左折時の事故防止のため、音声合成アラームを取付け、運転席付近にスイッチを設けること。

また、電子サイレンアンブ作動時は、当該アラームを作動させないこと。

(8) 路肩灯

左右後輪及びその周辺を有効に照らすLED路肩灯を取付け、スモールに連動して点灯する構造とすること。

(9) 車幅灯

車体後部側面にLED車幅灯（プロテクター付）を取付け、スモールに連動して点灯する構造とすること。

(10) GPS ナビゲーション（AM・FM ラジオ付き）

GPSナビゲーション（AM・FMラジオ付き）を運転席付近に取付けること。（スマートフォン（android/iPhone）内のナビゲーション等が映写できる構造のもの。）

(11) ドライブレコーダー

ドライブレコーダーをフロントガラス上部から20%以内の場所又はルームミラーの裏側に取付けること。（取付け位置は、別途協議）

(12) 後方監視システム

キャビン内運転席上部に、車両後方視界を補助、走行時における車両後方情報を広角俯瞰表示し、安全確認並びに安全走行できる液晶モニターを設けること。

(13) ETC

ETCユニットを、運転に支障のない位置に取付けること。（取付け位置は、別途協議）

(14) バッテリー管理装置

キャビン内に設置したバッテリー管理装置に電源を供給するため、車体後部にマグネット式コネクタを設け、バッテリー管理装置まで配線すること。また、共用したオイルパンヒーターは、キャビン内でON、OFF操作できるスイッチを設けること。（10mコ

ード附属とする。)

## 7 無線装置及びAVM車載端末装置

- (1) 積載する無線装置及びAVM車載端末装置は、旧車両（島根 800 さ 1912）から取り外し、当該新車両に積み替えること。

アンテナ・スピーカー・配線等の附属品については全て新品とし、配線の引き込み及び隠ぺいは事前に行っておくこと。

無線装置及びAVM車載端末装置の取付は、発注者が指定する業者において施工させるとともに、発注者と十分協議の上、取り付けること。また、納入時には、諸手続きを完了させ、使用可能な状態にすること。

無線装置及びAVM車載端末装置の積み替えに係る一切の費用は、受注者が負担すること。

- (2) 車体左右の両側板に、無線送話機取出口及び防水型車外スピーカーを埋め込むこと。車内スピーカーは常時出力状態とし、車外スピーカーは無線送話機取出口付近に切替スイッチを設け、車内及び車外で切替が可能で、いずれも表示灯等により確認できること。また、ポンプ作動時においても十分なスピーカー音量を確保すること。

## 8 塗装及び文字記入

- (1) 車両塗装は、完全な防錆加工を施し、塗料（朱色）はVOC（揮発性有機溶剤）削減、環境負荷物質（鉛など）を一切含んでいない等の環境に配慮したハイソリッドウレタン塗料（または同等性能のもの）を使用するとともに、アクリル塗装の艶出しを行うこと。

また、走行時及び資機材の取り出し等により、塗装剥離のおそれのある部分は適切な保護対策を講じること。

なお、フロントバンパー及び車体下部（左右）に、チップング塗装（ラプターライナー）を施すこと。

- (2) 車体のアルミシャッターは、全面朱色とする。
- (3) 車体後部には、再帰反射材を使用してシェブロン・マーキングを施すこと。（色は別途指示）
- (4) 車体内部及びポンプ配管は、シルバーメタリック色に塗装すること。
- (5) ドア又はボックス開放時の事故防止のため、反射テープ（黄色）を貼り付けること。（貼付位置は、発注者と別途協議し指定する場所に貼り付けること。）
- (6) 車両の各部に、発注者が指定した文字等を記入すること。受注者は、指示された文字等を記載した車両デザイン画を提出し、発注者の承認を得た後に施工すること。

文字等については、次のとおりとする。（カッティングシート貼付）

ア キャビン上部に、「島根雲南P1」と対空表示文字を貼付すること。

イ 左右のリアドア部に、「雲南消防署」と貼付すること。

ウ キャビン前面運転席側に「島根」、助手席側に「雲南P1」と貼付すること。

- エ キャビン前面フロントガラス上部に「UNNAN F. D」と貼付すること。
  - オ 標識灯に「雲南P1」と記入すること。
  - カ シャッターに、消防本部が指示する文字等を貼付すること。（別途指示）
  - キ 文字の字体、大きさ及び色等については、別途発注者が指示する。
- (7) 指定する資機材には、「雲南消防署」のネームが容易に取れない方法を講じること。

## 9 別表

本仕様に関する取付品、取付装置及び附属品等は「別表」のとおりとする。

## 別表

## 1 備えなければならない取付品及び取付装置

No.	品名	数量	仕様	備考
1	ポンプ圧力計	2式		
2	ポンプ連成計	2式		
3	エンジン回転計	1式	シャーシ固有品	
4	エンジン油温計	1式	シャーシ固有品	
5	赤色警光灯	1式	LED赤色警光灯 WHELEN 散光式警光灯 CVS10R24 1220 (同等可) 50Wスピーカー サイレン含む	
			LED赤色点滅灯 キャビン前面 2個 WHELEN M7FCR24 車体側板上部 左右両側各3個 WHELEN M7FCR24 車体後面 2個 WHELEN M6FCR24 (プロテクター取付)	
6	電子サイレン	1式	50W DC24V 大阪サイレン製 TSK-D152 専用マイク付 消防署仕様 (標準メッセージ5ch)	
7	照明灯	2式	手動式伸縮ポール付き投光器 フラッシュボーイLED (SP-Q14 Compact) 車体前部左右 (ポールの長さは、別途協議)	
8	後退警報器	1式	音声合成タイプ (後退・右左折) 電子サイレン作動時は停止 運転席に ON/OFF スイッチ取付	
9	標識灯	1式	LED標識灯	

## 2 軽微な変更として備えることができる取付品及び取付装置

No.	品名	数量	仕様	備考
1	電動サイレン	1式	赤色警光灯内蔵型	
2	真空計	2式	左右に取付	
3	ポンプ回転計	2式		
4	流量計	2式		
5	積算流量計	2式		
6	キャブチルト装置	1式	電動油圧式（非常用手動装置付）	
7	オイルパンヒーター	1式	キャビン内 ON/OFF 切り替えスイッチ バッテリー管理装置と電源共用10mコード附属	
8	不凍液注入装置	1式	各ボールコック等	
9	スタッドレスタイヤ	1式	国産メーカー品 アルミホイール付	
10	作業灯（車体固定型）	1式	車体側板上部 左右両側各2個 WHELEN S30MB 車体後面上部 1個 WHELEN S30MB	
11	車外無線送話機取出口	1式	左右に取付け（取付け位置は、別途協議）	
12	反射材（再帰反射材）	1式	シェブロン・マーキング（リア） 上部（文字）	

## 3 備えなければならない附属品

No.	品名	数量	仕様	備考
1	吸管	2式	軽量ソフト吸管 呼称 75mm×長さ 10m エキスパン金具・反射線付	
2	吸口ストレーナー	2個	ポリ製	
3	吸管ストレーナー	2式	岩崎製作所製 16SKGF3P ストカゴ、ガイドロープ、ヒッパラー媒介、65町オ ス金具セット	
4	中継口ストレーナー	2個	ポリ製	
5	吸管ちりよけかご	2個	No.3 吸管ストレーナー に含む	
6	吸管まくら木	2個	溝付き	
7	吸管ロープ	2本	No.3 吸管ストレーナー に含む	

8	消火栓金具	1 個	呼称 75mm ネジメス×呼称 65mm 差込メス	
9	中継用媒介金具	2 個	呼称 65mm ネジメス×呼称 65mm 差込メス	
10	消火栓開閉金具	1 式	地下式消火栓用標準品	
11	吸管スパナ	2 本	標準品	
12	管そう	2 本	安全管そう YONE 製：50mm	
13	ノズル	4 個	ストレートノズル×4 (50mm管そう用、口径 20mm)	
		4 個	クアドラノズル×4 (呼称 50mm、0.5Mpa 対応)	
14	放口媒介金具	2 個	前側放口 マルチコネクター型 (呼称 65mm ネジメス×呼称 65・50mm 差込オス) 左右各 1 個	
		2 個	後側放口 呼称 65mm ネジメス×呼称 65・50mm 差込オス MCスイベルタイプ 左右各 1 個	
15	とび口	2 本	グラスファイバー柄 (長さ 1.8m)	
16	金てこ	1 本	標準品 長さ 1m 程度	
17	剣先スコップ	1 本	標準品	
18	はしご	1 式	アルミ製 2 連梯子 全長 6.1m 以上 関東はしご KHRF-52	
19	車輪止	2 個	ゴム製	
20	消火器	1 本	自動車用 ABC 粉末消火器 6 型 (蓄圧)	
21	ポンプ工具	1 式	標準品	
22	ホース	25 本	芦森工業 D ライトエースα (使用圧 1.6Mpa 不意離脱防止金具付) 65mm×20m 20 本 50mm×20m 5 本	
		5 本	キンパイ New プロランナー A 40mm×20m (50mm 異径金具付き) 5 本	

#### 4 軽微な変更として備えることができる附属品

1	タイヤチェーン	1式	スタッドレスタイヤ用 ダブル梯子型 バンド各2本付	
2	分岐管	1個	マルチコネクター型 YONE製 (呼称65mm 差込メス×呼称65・50mm 差込オス)	
3	ホースブリッジ	2式	コンパクトブリッジ ゴム製 呼称65mm×1本用	
4	ワイヤ	1本	牽引ワイヤ 18mm (5m以内)	
5	ホース背負器	4式	背負い式(アルミ製) 65mm×2本用	
6	おの	1式	手おの グラスファイバー柄	
7	掛矢	1式		
8	スタンドパイプ	1式	呼称65mm	

#### 5 加算装置

1	寒冷地仕様	1式	電子防錆システム(ラストアレスターシステム) シャッター式構造機装 車体下部防錆塗装処理	
2	空気呼吸器	3基	ライフゼム A-1 (面体サイズM、面体カバー含む)	
		1式	パーシ・レスクマスク(リディホース付)	
		3式	レスクマスクキット(ACTハーネス用)	
3	空気呼吸器用ポンペ	3本	内容量6.8L 充填圧30MPa(軽量) 圧力計なし バルブ角度150度	
4	空気呼吸器取付装置	3セット	Smart Dock(同等可)	

#### 6 その他の装備・附属品

No.	品名	数量	仕様	備考
1	旗立てパイプ	1本	ステンレス製 (位置は、別途協議)	
2	補助バックミラー	1式	助手席用	
3	消防章	1個	標準品	
4	ステップ灯	4個	LED式 左右前後キャビンドア開閉連動	

5	乗降用アシストグリップ	1式	ステンレス製	
6	フロントメッキグリル	1式		
7	チッピング塗装	1式	ラプターライナー (フロントバンパー及び車体左右側面下部)	
8	泥除けゴム	1式	水しぼき防止マット (全輪) ハクエイ工業 ミズキール	
9	サイドバイザー	1式	全ドア取付け ステンレス製又はアクリル製	
10	フロアマット	1式	ゴム製	
11	ナンバーフレーム	1式	ステンレス製 前後取付	
12	牽引フック	1式	フロント、リア	
13	空気呼吸器面体用フック	3個	面体吊り下げフック 3箇所	
14	収納ボックス	1式	空気呼吸器取付スペース下部及び後部座席下部	
15	シートカバー	1式	防汚シートカバー 全席	
16	ハンドレスフレキシブルマイク	1式	運転席用 ON・OFF スイッチ取付	
17	バッテリーメインスイッチ	1式		
18	機装メインスイッチ	1式	イグニッションキーACC連動	
19	センターコンソールボックス	1式	前席中央部	
20	後方監視システム	1式	車両後方の情報表示液晶モニター (バックアイカメラ) 後方確認カメラ含む	
21	10連スイッチボックス	1式	大阪サイレン製	
22	地図収納箱	1式	A3サイズ (仕切り板あり)	
23	キャビン内天井照明灯	1式	LED式 WHELEN CL-60CH24 スイッチはオン・オフ・ドア連動の切替え式	
24	フレキシブル型LEDライト	1式	助手席ドア上部に取付 スイッチ・固定金具付	
25	拡声器取付用ブラケット	1式	キャビン内天井部 (助手席付近)	
26	キャビン内 車載無線用スピーカー	1式	キャビン天井陪前席・後席 音量調節機能付	
27	広報用マイク (音声合成付き マイク)	1式	後部座席付近に増設 (位置は、別途協議)	



28	車体下部収納装置	4 式	チェーンレスステップ方式 (LED点滅灯取付) 各ボックス内に樹脂製スノコ敷設 (排ガス浄化装置設置部を除く)	
29	後輪部展開式ステップ	2 式	左右に取付	
30	車体上部大型アルミボックス	1 式	車体右側上部 (サイズ及び個数は、別途協議)	
31	車体上部手摺	1 式	左右前後取付	
32	梯子手動昇降装置	1 式	車体左側上部 (アルミ2連梯子、とび口2本積載)	
33	車体上部乗降用ステップ	1 式	車体前部左右 (埋め込み式折り畳みステップ) 車体後部 (ステンレス製梯子)	
34	車輪止固定装置	1 式	キャビン下部 2 個用×1 か所	
35	可搬消防ポンプ積載架台装置	1 式		
36	可搬消防ポンプ	1 式	C-1 級 吸管 (呼称65mm×長さ6m) ・65mm用ストレーナー・ポリカゴ・吸管ロープ付	
37	可搬ポンプ用工具	1 式		
38	車体の照明灯	1 式	LED式 シャッターレール部・収納ボックス内	
39	路肩灯	1 式	LED式 左右後継部に取付 (スモール連動)	
40	車幅灯	1 式	LED式 車体後部側面に取付 (スモール連動)	
41	GPS ナビゲーション (AM・FM ラジオ付き)	1 式	運転席付近 (スマートフォン (android/iPhone) 内のナビゲーション等が映写できる構造のもの。)	
42	ドライブレコーダー	1 式	純正品又はドライブマン GP-4K (同等可) (記憶媒体 32GB以上×2個)	
43	E T C	1 式	セットアップ含む	
44	バッテリー管理装置	1 式	マグネット式コンセント 10mコード付属	
45	予備ボンベ等積載装置	1 式	空気ボンベ3本	
46	アルミ製媒介金具	2 式	呼称 50mm 差込メス×呼称 40mm 差込オス	
		2 式	呼称 40mm 差込メス×呼称 50mm 差込オス	
47	逆延金具	2 式	呼称 65mm 差込メス×呼称 65mm 差込オス	
48	吸口金具 (媒介)	4 式	呼称 75mm ネジメス×呼称 65mm 差込メス 3 式 呼称 65mm ネジメス×差込メス 1 式	
49	ホースバッグ	8 式	65mm×3本収納式 (FSジャパン 大型ホースバッグⅢV2)	

50	ホースバッグ	3式	65mm×2本収納式 (東洋型ホースバッグ TBS-5)	
51	ホースバッグ	2式	40mm×2本収納式 (FSジャパン ホースバッグTW40)	
52	シャットオフボールバルブ	4式	アルミ製 50mm差込メス×50mm差込オス	
53	隊員用携帯警報器	3個	MSAモーションスカウト (同等品可)	
54	デジタルランシーバー	5台	防水型スピーカーマイク登録申請 (初回) 含む	
55	ホース漏水止めバンド	5個	マジックテープ式 反射テープ付	
56	背負い式消火水のう	4式	アキレス ファイヤーハンター FH01	
57	誘導棒	2本	高輝度赤色LED使用 54cmタイプ	
58	携行ライト	2個	マキタML812 本体2台 18Vバッテリー2個	
59	携帯拡声器	1個	レイニーメガホンタフ	
60	出動用ベスト	5着	専用ベスト (別途協議)	
61	巻き尺	1式	50m用	
62	万能斧 (弁慶)	1個	レスキューアックスSD	
63	ハンマー	1本		
64	低水位ストレーナー	1個	TOHATSU フローティングストレーナーS	
65	クリッパー	1式		
66	停止表示板	1式		
67	救助艇	1式	別添救助艇仕様書のとおり (同等品)	
68	無人航空機	1式	別添無人航空機仕様書のとおり (同等品)	

#### 7 旧車両から積替える装備品

No.	品名	数量	仕様 (重量)	備考
1	ストレートノズル	1個	ノズル口径20mm	
2	管そう	2本	安全管そう YONE製:50mm	
3	分岐管	1個	マルチコネクター型 YONE製 (呼称65mm差込メス×呼称65・50mm差込オス)	
4	安全帯	2個	墜落防止器具	
5	ウォーターチャージャー	1個	YONE製	
6	空気呼吸器用予備ボンベ	3本	充填圧30MPa (軽量)	

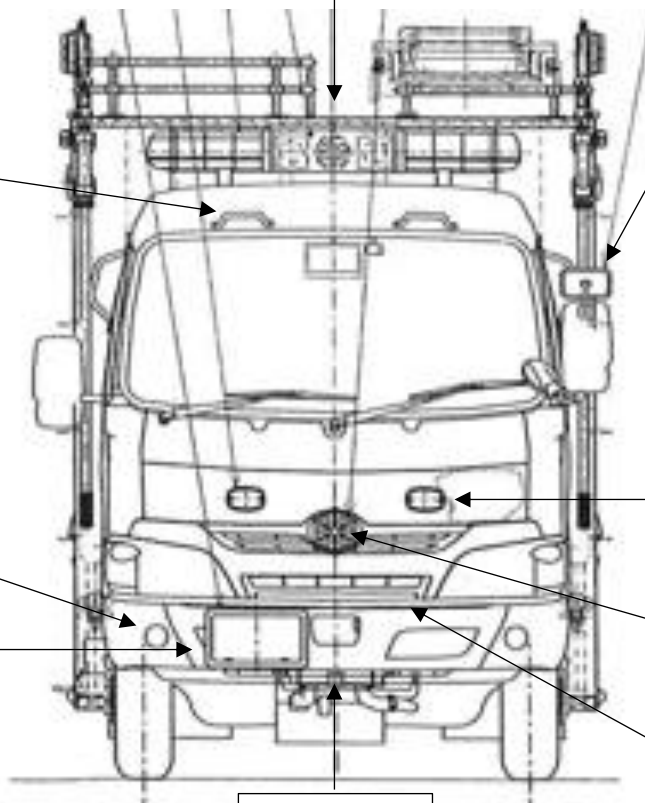
# 前面

WHELEN 散光式警光灯 CVS10R24 1220  
電動サイレン



ステンレス製手摺り

補助バックミラー



チッピング塗装 (ラプターライナー)

WHELEN M7FCR24

ナンバーフレーム

消防章

牽引フック

フロントメッキグリル

# 右側面



赤色警光灯 左右両側各3個 WHELEN M7FCR24  
作業灯 WHELEN S30MB 2個

照明灯 フラッシュボーイ LED (SP-Q14 Compact)

車体上部乗降用ステップ (埋め込み式折り畳みステップ)

ハンドレスフレキシブルマイク

- ・クアドラ
- ・シャットオフバルブ
- ・分岐管
- ・管そう 50 mm 4本
- ・吸管ちりよけかご
- ・控え綱
- ・低水位ストレーナー
- ・媒介金具等

- ・万能斧 (弁慶)
- ・65 mm/50mm (二重巻)
- ・資機材収納

可搬消防ポンプ  
C-1 級

センター  
吸管

放口等

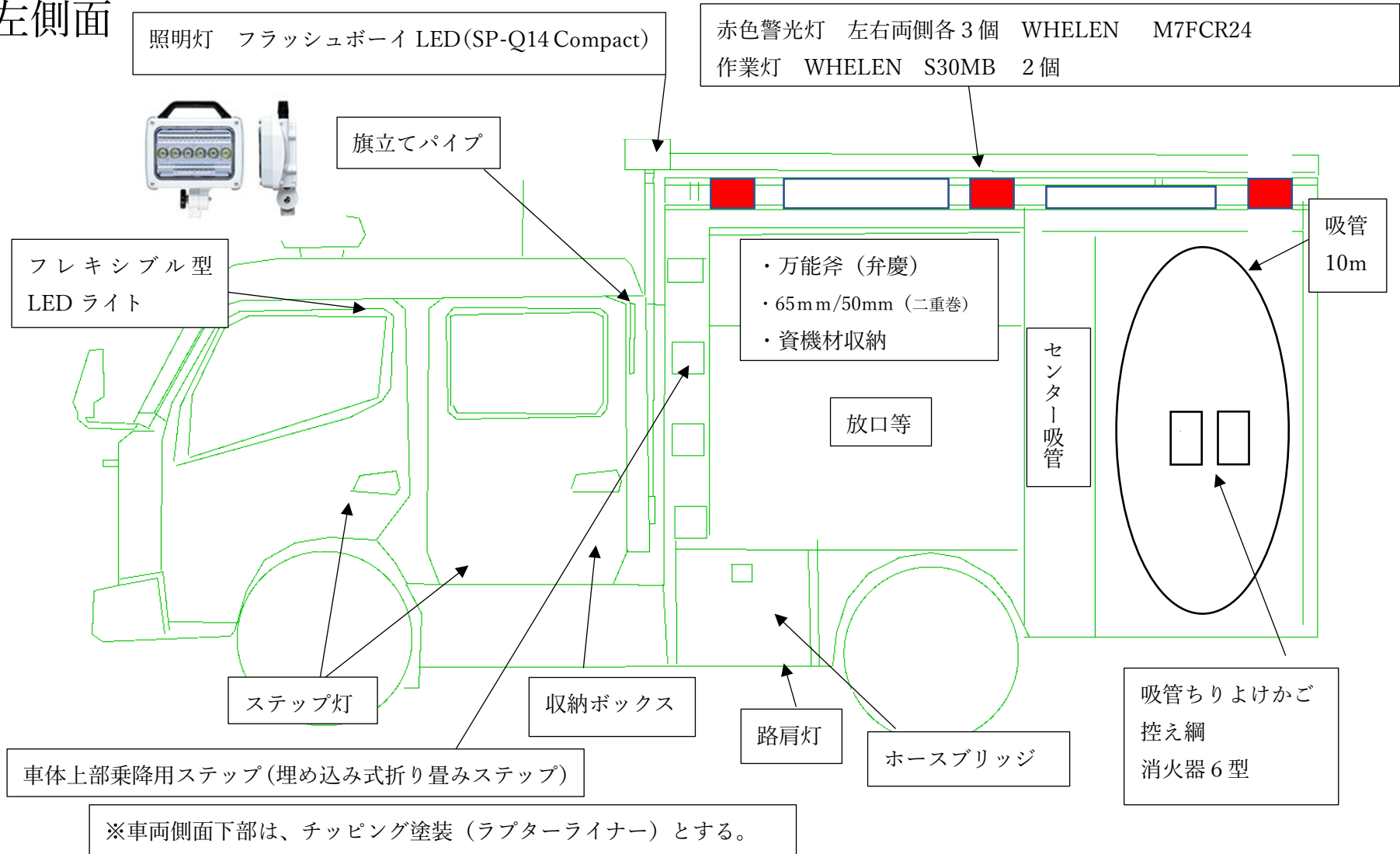
路肩灯

車輪止

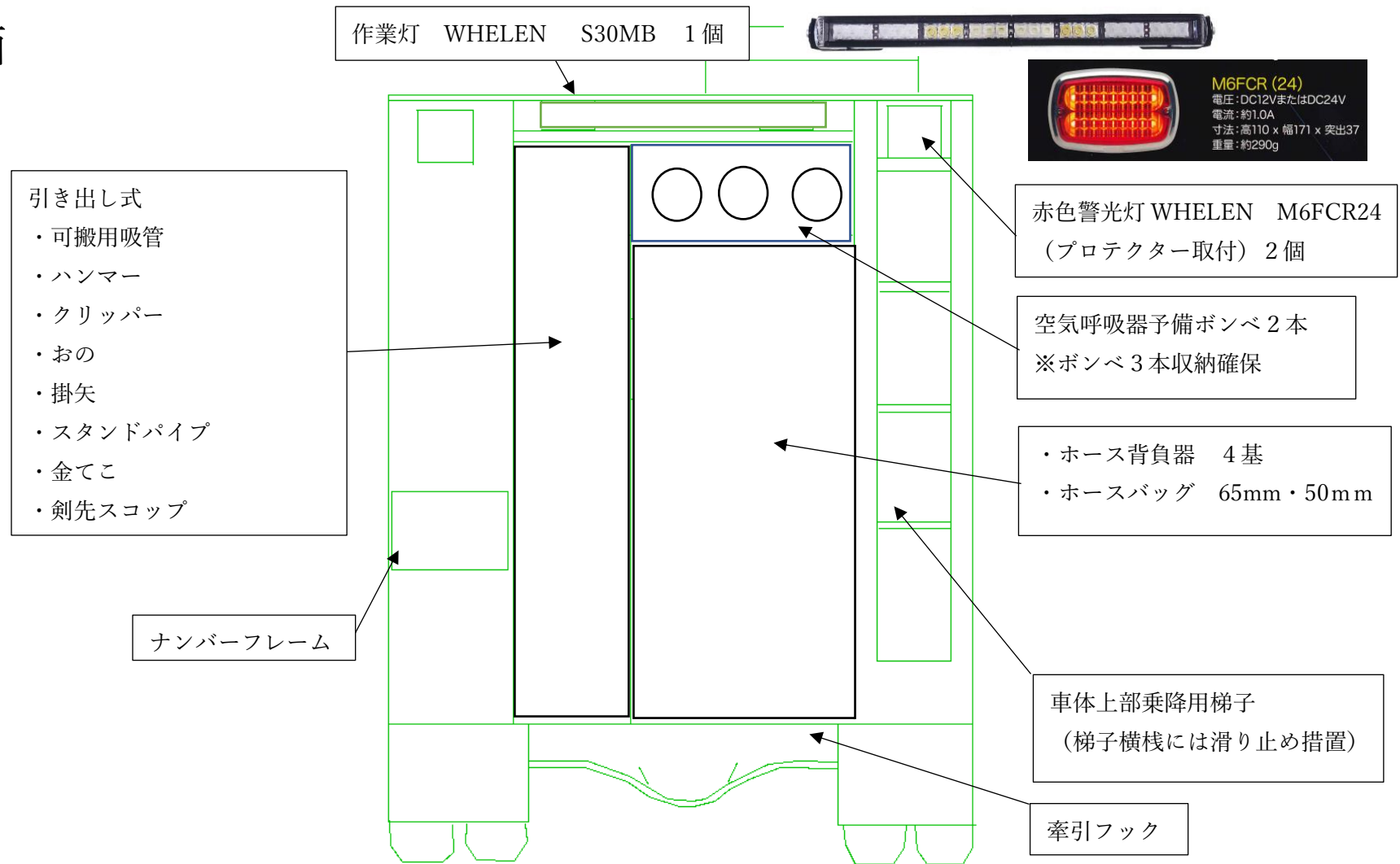
ステップ灯

※車両側面下部は、チップング塗装 (ラプターライナー) とする。

# 左側面



# 後面



# 上部

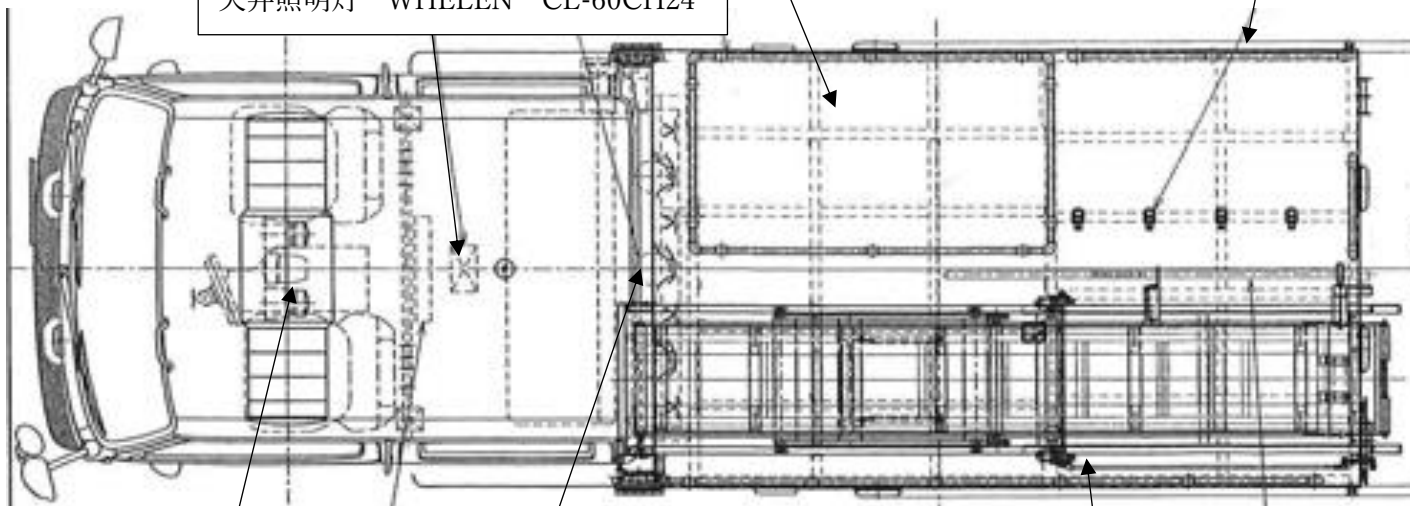
CL-60CH  
CL-60CH24



- ・ウォーターチャージャー
- ・背負い式消火水のう等

車体上部手摺（左右前後取付）

天井照明灯 WHELEN CL-60CH24



地図収納箱

センターコンソールボックス

梯子手動昇降装置  
アルミ製2連梯子 関東はしご KHRF-52  
とび口2本 グラスファイバー柄（長さ1.8m）

空気呼吸器 3基 ライフゼム X-1（最新式）  
空気呼吸器取付装置 Smart Dock

## 救助艇 仕様書

- 1 購入品目  
救助艇及び附属品

- 2 規格等

- (1) 救助艇及び関連品

内 容	数 量
インフレーターボート PAL-331TDR	1
船舶検査済票及び船舶番号貼付用プレート	各2
予備検査費	1式
電動高圧ポンプ バッテリー付き GP-80B	1
マニュアル類	1式

- 3 その他

- (1) 納入前に納入者において、本仕様を満たしていることを十分確認するとともに、接続および動作確認を行うこと。
  - (2) 納入後、取扱い説明を実施すること。
  - (3) 納入後、製品に製造上の不良が発見された場合は、無償で修理または交換すること。
  - (4) 修理が必要な事象が発生した際は、早急に対応できること。
  - (5) 納入に係る経費については、受注者が負担すること。
  - (6) 船舶登録に係る経費については、発注者が負担すること。
  - (7) この仕様書に定めのない事項は協議の上決定する。



## 無人航空機 仕様書

### 1 購入品目

無人航空機及び附属品

### 2 規格等

#### (1) 無人航空機

DJI Mavic3 Pro Fly More コンボ (DJI RC Pro 付属)内容

内 容	数 量
DJI Mavic3 Pro (機体)	1
DJI RC Pro (送信機)	1
DJI RC Pro 操作スティック (1組)	1
DJI Mavic3 インテリジェント・フライト・バッテリー	3
DJI Mavic3 低ノイズプロペラ (1組)	6
DJI 100W USB-C 電源アダプター用 AC 電源ケーブル	1
DJI 100W USB-C 電源アダプター	1
USB-C ケーブル	2
DJI Mavic3 バッテリー充電ハブ (100W)	1
DJI Mavic3 Pro ストレージ カバー	1
DJI Mavic3 Pro ND フィルターセット (ND8/16/32/64)	1
DJI ショルダーバック	1
マニュアル類 (一式)	1

#### (2) 関連品・予備品

内 容	数 量
Lykus DCP - M350 Mavic3 Pro プレミアムハードケース	1
プロペラカード (一式)	1
送信機用ストラップ	1
HoodMan ドローン着陸パッド S	1
SMART SENSOR GM816 コンパクトデジタル風速計・温度計	1
HDMI ウルトラハイスピード 5mケーブル (バッファロー : BSHDUN50BK/N 8K 対応)	1
Sandisk MicroSDXC カード 64GB (SD カードアダプタ付)	1

### 3 その他

(1) 納入前に納入者において、本仕様を満たしていることを十分確認するとともに、接続および動作確認を行うこと。

(2) 納入までに同等機種を用いた取扱い訓練等を実施すること。

- (3) 納入後、取扱い説明を実施すること。
- (4) 納入後、製品に製造上の不良が発見された場合は、無償で修理または交換すること。
- (5) 修理が必要な事象が発生した際は、早急に対応できること。
- (6) 納入に係る経費については、受注者が負担すること。
- (7) 機体登録に係る経費については、発注者が負担すること。
- (8) この仕様書に定めのない事項は協議の上決定する。